

ま ち の 話 題

豊岡

北中新1年生交流会

友達たくさんできるかな
新たな出会い「ドッキドキ！」

2月27日、豊岡北中学校体育館で「北中新1年生交流会」が開催され、児童約170人が参加しました。これは、4月から北中に進学する五荘・田鶴野・豊岡・奈佐小学校6年の児童と各校PTA役員らで組織した実行委員会主催で、児童が中学校生活に円滑に移行できるようにするため、入学前に交流する機会をつくらうと、今年初めて開催したものです。交流会では、各校代表が学校自慢や伝統行事などを紹介し、ドッジボールや学校見学などで交流を深めました。田鶴野小6年の大槻美紅さんは「自分から話しかけるのは難しかったけど楽しかった」と話していました。



▲ドッジボールの合間に手作りの名刺を交換する児童たち

城崎

第6回古着ゆかたのリフォーム展

やさしく粋な日本文化を

大切にしたい

2月24日から3月24日まで、城崎文芸館で古着ゆかたのリフォーム展（城崎文化フェスタ実行委員会主催）が開かれました。これは、「ゆかたの似合うまち城崎温泉」の一環として、平成17年から毎年冬季に開催されています。会場には、洋服、灯り、花、ストラップなどに変身したおしゃれな品が並び、来場者からは「すてき」「きれい」という声が聞かれました。実行委員長の井本裕人さんは、「応募者にはリピーターも多く、地域に根ざした事業になっていることがうれしいです。これからもこだわりの高い作品展にしていきたい」と話していました。



▲城崎温泉に宿泊する大学生も来場し、浴衣のリフォーム作品を鑑賞

竹野

子どもの野生復帰大作戦・キッズワイルド2010「みそ汁パーティーをしよう」
みんなで楽しくクッキング

2月27日、子どもの野生復帰大作戦・キッズワイルド2010「みそ汁パーティーをしよう」を竹野南地区公民館で開催しました。今回の活動では、収穫した大豆を使い、みそを作ったり、大豆を使ったクッキングで家族をもてなしました。

参加した子どもたちは、ごはん担当、豆乳みそ汁担当、おからホットケーキ担当、サラダ担当の4班に分かれ、スタッフに教えてもらいながら家族のために、真剣に料理をしていました。

活動後は、参加者、家族ともども、満足げな表情を浮かべていました。



▲大豆を使い、料理する子どもたち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

アップかなべ中央ゲレンデ「スキー場まつり」
4年ぶりに「感謝を込めて！」

2月28日、神鍋高原アップかなべスキー場の中央ゲレンデ(日高町栗栖野)でスキー場まつり(栗栖野観光株式会社主催)が開催されました。このイベントは、日ごろのスキー場利用に感謝の気持ちを表そうと、毎年2月の最終月曜日に開催していましたが、暖冬の影響で4年ぶりの実施となりました。

この日は、1日リフト券(小学生以上)が千円で提供され、来場者には、つきたての餅も振る舞われました。スノーボードを楽しんだ碓井華帆さん(京都府福知山市・小6)は「滑りやすかった。お餅も軟らかくておいしかった」と満足そうに話していました。



▲ゲレンデに「玄さん」登場！来場者らと一緒にスノーボードを楽しんだ

出石

ひなまつり会
親子で楽しくひなまつり



▲折り紙で男びな・女びなを折る参加者

3月2日、出石子育てセンターでひなまつり会が開催され、38組の親子が参加しました。当日は、子育てセンターに通うお母さんたちで作るハンドベルグループの演奏を聴いたり、折り紙で男びな・女びなを折ったりして楽しみました。また、自分たちで作ったいならずしをおいしそうにほおばっていました。ハンドベルグループ代表の廣瀬ゆかりさん(出石町寺坂)は「なかなかそろって練習できず、音を合わせるのに苦労しました。ただ、苦労した分、こうした場で披露し、成功したときは充実感でいっぱいです」と話していました。

但東

第38回但東地域子ども会卓球大会
小さな対戦台に
子どもも大人も盛り上がった！

2月27日、但東中央体育館(但東町出倉)で但東地域子ども会卓球大会が開催されました。子ども会7チームでのリーグ戦・決勝トーナメント戦では、各チームの低学年から高学年までが小さな玉を必死で追い、中には、息詰まる攻防を繰り広げた対戦も見られました。また、15組が参加した親子ダブルス戦では、親と子どもが互いに叱咤激励する姿が、会場を大いに沸かせていました。

坂野子ども会の山本大智君(資母小6年)は「小学生最後の大会で優勝できてうれしい。みんな良く頑張ったし、チームの団結力もばっちりだった」と優勝を喜んでいました。



▲出場チームが減少する中、体育館は熱気に包まれた